



HINATA BOKKO vol.6

1. ユニバーサル事業の理念について

スローガン：「出会って！つながって！広がって！」

誰もが安心して暮らすことが出来るユニバーサル社会を目指し、障がい当事者、福祉、学校関係者等すべての人々がコミュニケーションを取り合い、一人一人が持てる力を発揮できるように、地域社会貢献に努め、啓発活動に取り組んでいくグループとして明石市内を中心に行動します。



2. まなんみんの車いすあるある日記

車椅子ユーザーの生活についてのお話を知れる、YouTube動画が始まりました！



◀ <http://youtu.be/Yd2KQa0Vxtw>



3. UDメンバーの当事者から見た新型コロナウイルスでの困りごと

●聴覚障がい者の視点から

当初ニュースでもマスクをしているので表情が読み取れませんでした。後に手話通訳が付いたことで、手話通訳の必要性を世の中に理解してもらえたかなと思いました。聞こえない私としては目に見えるという事が必要です。アイコンタクトが必要ですが、会社の中ではスピード感が大切なので気を遣うことが多いです。

聞こえないという事はどういう事なのかをもっと伝えていきたいです。



木戸様

●車椅子ユーザーの視点から

身体障がい者は基礎疾患を持たれている方も多く、訪問介護（ヘルパー）をお願いしているご自宅は多いと思いますが、今回のコロナ禍中にどこまで訪問介護を利用するかは考えましたね。私の母も高齢である中、介助に密は避けられませんし、そんな風に多くの方が訪問介護の利用を悩んだのではないでしょうか。

生きるか死ぬか、訪問介護を利用するかしないか、悩みました。

買い物についてはどこのスーパーも開店から1時間を、感染した場合のリスクが高い高齢者、障がい者、妊婦などが優先して買い物ができる時間としていましたが、イオンは13時～14時の時間設定だったので凄いなと思いました。

皆が等しく開店早々に行ける体があるのかは分かりませんが、選択肢がある事が有難かったです。



石田様



●視覚障がい者の視点から



石井様

同行援護をお願いするケースが多いのですが、「最低限の利用にしてください」だったり、「必要であればおっしゃってください」と言っていたので、我慢して外出はしないという選択が多かったです。印鑑を書類に押すような場面で、「声でナビゲートしましちゃうね」「大丈夫です、そのまま真っすぐ」と言って全て声でナビゲートするような方もいました。初めての事でとても戸惑いました。

盲導犬のお話では、自粛されている方が多い中、盲導犬の利用が減り、盲導犬が道を覚えにくいということがありました。たまにしか行かないルートを覚えにくいし、アスファルトの上を歩くことに犬が行きたがらなくて、訓練のやり直しをしていました。

家の中で自粛している方が多く、情報が見れなくて困りました。

視覚障がい者にとって「触れる=見る」なので、触れられない事に困りました。